News Release

愛される未来へつなげよう。
NTT西日本

２０２６ 年 １１ 月 １ ８ 日
ＮＴＴ西日本株式会社 九州支店

無線通信技術を活用した集約検針方式の実証実験を開始

～高層集合住宅における 1 対 N 型通信方式の有効性を検証～

NTT 西日本株式会社九州支店（執行役員九州支店長：松本 善雄、以下「NTT 西日本」）および NTT テレコン株式会社九州支店（支店長：中島 伸樹、以下「NTT テレコン」）は、福岡市水道局と協定を締結し、福岡市内の高層集合住宅を実証フィールドとして活用した実証実験を開始します。

本実証実験では、NTT テレコンが提供する集約型（1 対 N 型）通信システムを用い、水道スマートメーターの集約検針方式における通信品質や運用面での有効性を検証します。

1.背景・目的

人口減少や高齢化の進展に伴い、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、施設の老朽化への対応や持続可能な事業運営が全国的な課題となっています。こうした中、デジタル技術を活用した業務の効率化や高度化が求められています。

その一つとして、通信機能を活用して水道使用量を遠隔で把握する水道スマートメーターの導入に向け、全国の水道事業体で通信方式を含めた様々な検討や実証が進められています。

本実証実験では、福岡市水道局の協力のもと、NTT テレコン製の通信端末および集中監視システムを活用した、水道スマートメーターの通信方式の一つである集約型（１対Ｎ型）通信方式について、高層集合住宅における通信の安定性や適用性を検証します。

2.協定について

協定締結日：2026 年 11 月 18 日（水）
実証実施期間：2026 年 11 月～2027 年 11 月
署名者：

NTT 西日本	執行役員九州支店長	松本	善雄
NTT テレコン	九州支店　支店長	中島	伸樹
福岡市水道局	水道事業管理者	中村	健児

3.実証実験の概要

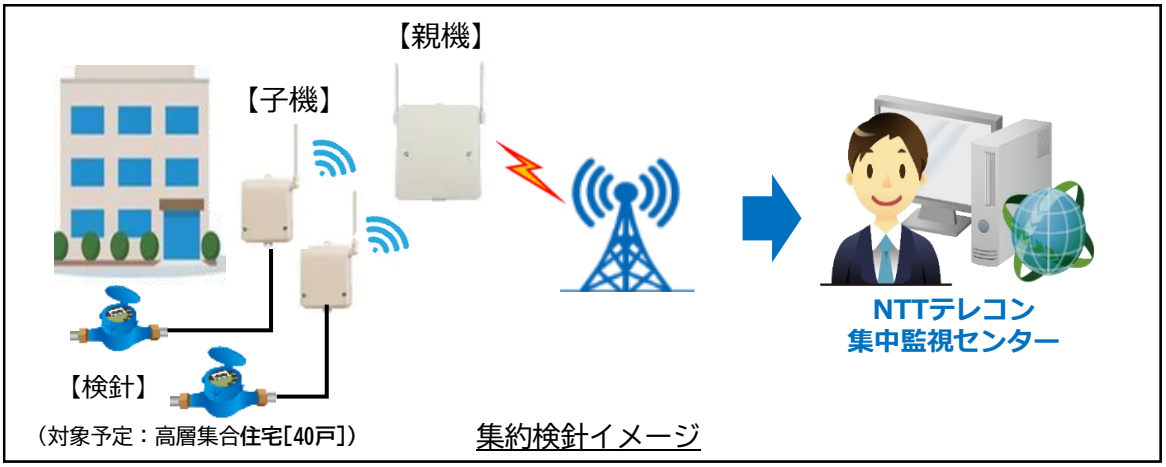
NTT テレコン製の通信端末と電子式水道メーターを接続し、各水道メーターの検針データを集約型通信端末に集約します。

本実証実験では、高層集合住宅における集約型（1 対 N 型）通信方式について、通信の安定性や有効性を検証するとともに、NTT グループが保有する通信技術を活用した高感度通信対応端末の適用性を評価し、集約検針方式の活用に向けた技術的課題の整理を行います。また、漏水警報機能等の活用や、水使用データの検針以外での利活用可能性についても検討を行います。

＜主な検証項目＞

・集約型（1 対 N 型）通信方式における通信品質の安定性の確認
・高感度通信対応端末の適用性の確認
・漏水警報機能等を含む水使用データの利活用可能性の検討

＜数量、設置場所＞
・設置台数 40 台
・市内都市部高層集合住宅



4.役割分担
NTT 西日本　九州支店　　---水道検針データの分析及び上下水道業務の DX 化に向けた検討
NTT テレコン　九州支店　---遠隔水道検針サービスの提供及びデータ化
福岡市水道局　　---実証フィールドの提供

5.今後の展開
本実証実験の結果を踏まえ、集約検針方式の有効性や技術的課題を整理し、通信端末や遠隔検針サービスのさらなる改善につなげてまいります。
また、本実証実験で得られた知見を活用し、さまざまな設置環境への適用可能性を検討するとともに、水道事業体のニーズに応じた集約検針のサービス展開を検討してまいります。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。
変更になる場合がありますので、あらかじめご了承いただくとともに、ご注意をお願いいたします。

審査２６-Ｓ１２９０